2023 年（令和 5 年）7月 1 日
くげぬま探求クラブ

会報 くぐひ

第114 号（夏号）

◇ くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる ◇

新世話人から一言

坂口代表には4月号で抱負を語ってもらいましたので、他5名の方に抱負を語ってもらいました。

次の40周年へ

田中 力

三度目の世話人を仰せつかる。それもジャンケンで勝って？ギリギリ当選？一度目は訳も判らずガムシャラに、二度目は惰性で、さあ三度目となるとどういう形で皆さんにお役に立てられるだろうか？副代表として。大事な役目は総会、例会の代表（議長）に替わっての議事進行だろう。

ふと思うと当クラブも生誕30年。本年度は30周年記念行事の我がクラブとしての大イベントが始まっている。世間一般では壮年期（60歳で入会した人は90歳だ！）、そろそろ各部会活動の見直しを考えなくてはならない時期に来ている。喫緊の課題は如何に60～70歳代の若手？を募集するかだ。妙案はないが至難の業だ。あらゆる手段を活用して我がクラブを次の40周年へ。

会計担当世話人の柳田です

柳田 敏雄

世話人は2回目ですが、今回は会計を担当致します。会計そのものは人生初の体験で、この原稿を書いているこの時期は新年度予算（案）の作成で大忙しです。会計の先輩諸氏のご努力を思い知らされます。

この3年間のコロナ禍でクラブ活動も制限され、予算面もいろいろと有ったことと思いますが、ようやくコロナも下火になった今年の予算はどうするか、悩ましいところです。コロナ前の活動に復活するか、30 周年を迎えリニューアルしたクラブ活動となるか、金銭面の視点で各部会の活動を拝見させて頂きますので、よろしくお願いします。立替払いの換金はもちろん、領収書と引き換えですので、お忘れなく！

使われやすい私？

池田 修

在籍10年、三度目の世話人です。選ばれるのはクラブ員冥利、「みんなの役に立って自分も元気をもらう」のが探求スピリットなので、決して自分は使われやすいからなどとは思わないことです。もともと進取の気象に乏しい身だし、大した知恵もないので、満足な活動ぶりをおみせできるか。それに、歳のせいもあっておぼつかないことが多く、忸怩たる思いです。

今年はクラブ結成30周年。これぞ好機、クラブ隆盛化への起爆剤として生かせないか。一方、クラブ員の高齢化が思いのほか速く「若いメンバーを増やせ」のゆくえは果たして‥。世話人の負担減実現も必要です。

あっ、つい世話人の領分を超えてしまいました。世話人のお役目は、クラブの活動の調整・整理役でした。

世話人に選出されて

井上 忍

くげぬま探求クラブに入会したのは2019年6月で、ヤングハーツの対外ボランティア活動への参加が主目的でした。しかし、翌年3月にはコロナ禍で探求クラブの主たる対外ボランティア活動は中止となり、クラブ各部会への参加も個人的には控えていたこともあり、実質的に探求クラブでの活動は2年弱で、会員間の交流も十分出来ませんでした。

また、くげぬま探求クラブの規約等も不勉強な状態です。

こんな私に世話人としての役目が務まるだろうかと不安な気持ですが、幸運にも世話人を何度も経験している方々と一緒なので、諸先輩方のご指導の下で頑張る所存です。

私の世話人としての重要な役務の一つは、クラブ主催の懇親会の企画です。よって、不本意ながら皆さんにご協力をお願いする事も多々あると思いますが、どうぞ宜しくお願いします。

三度目の世話人として

水野 祐作

くげぬま探求クラブ生誕15年の時一度目の世話人となり、今年30周年の記念すべき年に三度目の世話人を仰せつかることになりました。初めての時のアコレードでの記念習作展開催が懐かしく思い出されます。世話人としては前2回の時と同様に、クラブメンバーの皆さんの日常活動が楽しくスムーズにいくようにお世話をすることに徹したいと考えています。

今年は地元自治会の組長当番と同時に全体の役員も仰せつかり、こちらを優先こともあろうかと考えています。個人的には忙しい年になりそうだと覚悟をしていますが、世話人として気負うことなく自然体で自分にできることで皆さんのお手伝いが出来たらと考えていますのでよろしくお願いいたします。

30周年記念行事報告

“小雨煙る踊り子歩道”を往く

谷村 彪

実に29年ぶりの天城路である。健康部会で天城路を訪れたのは1995年9月9日(土)・10日(日)の2日間。参加者は10名。この時は浄蓮の滝から河津七滝(かわづななだる)までのフルコース(約16km)を一日で、そして翌日伊豆急河津駅まで歩いたものである。当時の会員平均年齢が50代後半であったから出来たことであろう。

今回は当会創立30周年記念行事の一環として、企業研究部会との合同行事として企画されたものである。

5月23日(火)午前7時30分、生憎の雨模様のなかJRで三島に向かう。三島で伊豆箱根鉄道に乗り換え修善寺へ。修善寺駅で待望の駅弁「武士の鯵寿司」をゲットする。

9時55分、バスは定刻通り発車。本来の踊子歩道である、浄蓮の滝、昭和の森等をスイスイ通り過ぎ、10時45分水生地下バス停に到着する。小降りではあるが雨は降り続く。ここで全員雨具を装備し旧天城街道入口に向かう。

いよいよつづら折り街道の始まりである。未舗装路ではあるが路面は整備されており歩き易い。歩き始めると進行方向左側はこんもりとした杉林が続き、右下には雨で水量が増えた渓流の水音が聞こえる。そして小雨煙る歩道を進むと、雨に洗われた樹々の緑が幻想的なシーンとなって現れてくる。

川端康成伊豆の踊子文学碑

「川端康成伊豆の踊子文学碑」を見てしばらく歩くと水生地。ここを左に行くと八丁池だが我々は右のつづら折りの道を進む。進むにつれ靄が濃くなり深山に入ったという印象が強まってくる。途中数台の車と行き違うが「神戸」「京都」「一宮」等県外のナンバーが多い。やはり観光地である。

ほどなく旧天城トンネル到着、昼食の時間である。11時30分、予定より30分ほど早い。トンネル前広場では10人ほどの外人ツアー仲間がガイドの説明を聞いている。こんな時の挨拶は「コンニチハ」がピッタリだ。トンネル前の東屋での昼食は生憎の天候で薄暗い中であったが、「武士の鯵寿司」は上品な酢飯の上に桜の葉が敷いてあり、その上にのった厚めの鯵は美味しかった。

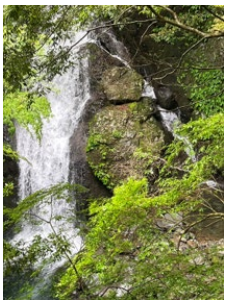
食事を早めに済ませ記念写真をパチリ。12時出発。

旧天城トンネルは標高708m、長さ446m、幅3.5m、高さ3.5mである。踊り子が歩いた当時は真っ暗であったと思うが、今はしゃれた明かりが足元を照らし歩き易くなっている。トンネルに入るとヒンヤリとし、話し声や口笛が反響、滅多に出来ない経験をする。

トンネルを出ると今度はつづら折りの下り歩道が始まる。11月の下旬にはトンネル出口付近から見た紅葉が圧巻である。ぜひお勧めしたい。ここでまた記念写真をパチリ。

ここで帰路バス乗り場を“鍋うしない”から一つ手前の“二階滝駐車場”に変更することにする。一つ手前にすることにより予定の2時14分発のバスから1時26分発のバスに乗れることがわかったからだ。

時間的にゆとりが出来、つづら折り歩道をゆっくり下る。寒天橋を渡りしばらく歩くと“二階滝”である。新緑の中に落ちる白い滝は水量も多く見事である。



ここから数分で二階滝駐車場分岐点。本来はここから30～40分かけて“鍋うしない”まで歩く予定であったが、50分の短縮となった。13時30分にバス乗車、貸し切り状態で修善寺に向かう。今回の“踊り子歩道”は途中で引き返すことになったが、残りの河津七滝までは健康部会として逆コースで河津桜満開の頃を見計らい早めに実現しようと思う。

蛇足　その1＜天城峠と旧天城トンネル＞

天城連山と猫越火山が北伊豆と南伊豆を大きく分けている。天城越えはその鞍部を越え、かつては今の二本杉峠を越えていたが、その後、新道が現在の峠に移り、その真下に天城山隧道が造られた。踊り子が通ったトンネルはこの隧道である。更にこの西下に昭和45年に新天城トンネルが完成したことにより、天城山隧道は旧天城トンネルと呼ばれるようになった。このトンネルは明治39年に完成し、我が国に現存している石造りの道路隧道の中では最も大きく長い土木建築物で、技術的に完成度が高く、明治後期を代表する隧道であるとして、平成13年に道路隧道としては全国で初めて重要文化財に指定された。日本の道100選にも選ばれている

蛇足　その2＜川端康成伊豆の踊子文学碑＞

旧天城トンネルの北口にある文学碑には「伊豆の踊子」の冒頭の一節が刻まれている「道がつづら折になって、いよいよ天城峠に近づいたと思ふ頃、雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい早さで麓から私を追ってきた」

五感で楽しむ伊豆旅行

田中　章

今回のクラブ創立30周年記念旅行の「企業研究部会コース」に参加した私を含む部会員6名は初日藤沢から三島経由で伊豆長岡のホテル「金城館」に直行、天城越えを終えた「健康部会コース」の9名と合流した。温泉で疲れを癒し、地元食材、日本酒も豊富なバイキング形式の夕食を楽しんだ後は部屋で懇親を深め、今後の当クラブの在り方についても語り合い有意義な時間を過す。

二日目は前夜深酒をした人も朝風呂で爽快に一日をスタート。朝食後、伊豆箱根鉄道の伊豆長岡駅から伊豆仁田駅に向かい、そこから歩いて30分程の「めんたいパーク伊豆」へ。ここは福岡市に本社を置く辛子明太子の製造販売を行う企業である**株式会社かねふく**が設立した明太子専門のテーマパークで、外国人を含む団体客で賑わっていた。明太子工場見学を含め同施設を一巡した後、至近距離にある**株式会社山本食品**の「伊豆わさびミュージアム」へ。この三島わさび工場のコンセプトは「見て、味わって」。伊豆の代表的な名産品である「わさび漬」の製造過程を見学

出来る他、買い物も楽しめる。「わさびソフトクリーム」なる珍しい食品もあり、今回は両工場とも五感で楽しむことが出来た見学となったのではないだろうか。

この後、「川の駅狩野川水防センター」と「道の駅ゲートウェイ函南」を見学後一旦解散。各自がめんたいパークのフードコーナーや他のレストランで食事をしたり、お土産を購入したりして過ごした。再度集合して路線バスでJR三島駅に。ここで解散とし、大多数はそのまま藤沢に向かったが、数名は藤沢到着後恒例の「反省会」を実施。二日間、お疲れ様でした。

4年ぶりの花見会

井上 忍

2023年4月3日、長久保公園芝生広場、参加者：36名（内ゲスト：3名）

コロナ禍の影響で4年ぶりとなる「お花見」を4月3日に開催しました。

開催にあたり桜前線の情報に注意していると、東京で全国最初の桜の開花が例年より早く観測されたとのニュースがあり、私達の「お花見」は葉桜かもと落胆しました。

ところが、当日は晴天で満開の桜が明るい春の陽光を受け青空に美しく映え、くげぬま探求クラブ30周年の幕開けを祝うがごとく絶好のお花見日和でした。

予定通り午前11時に新任の坂口世話人代表の音頭で乾杯をし、宴は賑やかに始まりました。満開の桜の木の下に設けられた3面のブルーシートに36名の参加者が輪座し集い、まずは花より団子をと、シュウマイ弁当、缶ビール、ワイン、日本酒、焼酎、ウイスキー、ソフトドリンク、乾き物のつまみ等、差し入れ品を含む飲食物を前に、喉を潤し、腹を満たしながら歓談の花を咲かせました。

たまに吹く風は酒と歓談で熱くなった体に心地良く、舞い落ちる桜の花吹雪は、浮世を離れ楽しむ風流人の世界を覗かせてくれました。

また、大きな青空と満開の桜の下では、お酒も美味しく参加者がそれぞれに個性豊かに過ごすさまは「くげぬま探求クラブ」そのものとも感じ、30周年記念の年度始めに相応しい「お花見」になりました。

そんな楽しい「お花見」も、午後1時には中締めとし、桜とお酒を愛で足りない10人程の人達は更に一時間楽しんで午後2時に全て片付け解散し「お花見」は無事終了しました。

長久保公園の芝生広場はペット動物入場禁止で、芝も綺麗に管理されているので、芝生の上に直接寝転べます。この日も20組程の親子連れ、ママ友グループが桜を楽しんでいましたが、子供達は裸足で駆け回り遊んでいました。

この日初めて気が付きましたが、芝生広場の西側道路脇に堀明子が藤沢市の小学4年生の時に作った詩の碑がありました。

子供達がのびのびと活動している素晴らしい環境の長久保公園で、会社人間から社会人間に生まれ変わった、ひたむきで活動的な、くげぬま探求クラブのメンバーが子供の様に裸足で芝生を駆ける姿を想像してしまい、来年も元気にこの芝生広場でメンバー全員で「お花見」をしたいと思いました。

親睦研鑽部会紹介

近代史を語る会

部会長交代にあたり

佐藤 恒雄

「近代史を語る会」(以下近代史)経歴についてはすでに「くぐひ」で紹介しているので省略する。私が二代目部会長岡田さんの後を継いで三代目部会長になったいきさつについても「くぐひ」で述べた通りであるが新会員もおられるので私が岡田さんに接するようになった動機について簡単に触れておきたい。

岡田さんはご自分のプリントで幕末史を続けてこられた。いうまでもなく日本は江戸時代の封建社会から脱却して欧米の文化に接し急速に近代化していく。その経過を豊富な資料を駆使してわかりやすく解説してくれた。資料を求めて国会図書館まで通ったという。ついでながら岡田さんの幕末史のプリントは岡田さんが亡くなられた後、会員の有志により一冊の著書にまとめられた。

岡田さんが健在だったある日、幕末史学習が終わって会員の伊藤薫さんが岡田さんをご自宅まで送っていく車に私も同乗させてもらった。時間的に10分くらいだったか。私は昨日瀬戸内海に面する港町鞆の浦というところから帰ってきたばかり、そしてひと言「坂本竜馬」のゆかりの地であると言った。2日後岡田さんからハガキが舞い込んだ。鞆の浦と坂本竜馬の関係を近代史で発表してくれとのこと。私が近代史で初めて本格的に学習したのはこの時からで「坂本竜馬といろは丸事件」のプリントがそれである。

岡田さんはその後も幕末史を続けられたが平成18年11月急逝された。こうしたいきさつがあってその後、皆さんの推薦を受け三代目部会長を引き受けることになった。早いものでそれから十数年経ってしまった。この4月から部会長を田中章さんが引き受けてくれることになり、90歳を過ぎた私の肩が軽くなった。大いに感謝したい。田中さんのユーモアあふれる進行が独特な近代史を作ってくれるものと思う。また近代史の進行をなにくれとなく支えてくれた鈴木(英)さんに深くお礼申し上げたい。近代史会員の皆さん、田中新部会長の下今後も大いに近代史を楽しみましょう。

＜トレンディな話題＞

我が家の省エネ作戦

塩川 昌男

省エネについては常日頃から意識してはいたが、家族5人で生活していたころは節電しようとしてもなかなかできなかった。とくに子どもたちの自由な振る舞いに対しては制御不能であった。彼らの学生時代の気ままな時間の過ごし方や趣味の電気製品の購入、使用に対して親は無力であった。その当時(2006年)の年間電力消費量は15万円程度であった。

その頃から徐々に照明灯のLED化をすすめた。現在では電球31個、直管蛍光灯9本、リング状蛍光灯4セットがLEDに置き換わった。当時使用していた加熱式加湿器は消費電力1000wであったが、同20wの超音波式に置き換えた。そして、子どもたちが出て行ったあとの電気料金は年間10万円程度となり、安定した。

将来の省エネのために2015年に出力3kwの太陽光発電装置を導入した。2016年以降は年間支払い電気料金が5万円程度、売電による受取り料金が年間11万円程度となり、150万円強の初期投資は10年以内に回収見込みとなった。設置10年経過後から売電単価は1/4程度に下がるので実質電気料金は年間3万円弱程度になるが、昼間には気軽にエアコンなどが使えるようになる。大災害などにより長期的停電になった場合、晴れた昼間には2kwの発電機として機能してくれる。

室内温度をコントロールしても外気の影響で空調費用が左右されると考えて、窓枠のアルミサッシュや玄関扉の古くなった隙間テープを全部張り替えた。厚さ5mm、10mmなどの隙間テープを全長で50m程買い込み、自分で施工した。これにより家屋の気密性が高まり、同時に小さな虫の出入りが減った。窓ガラスを通して熱の透過する量が減るように、水で貼れる樹脂フィルムを、外観が気にならない窓の個所に20面ほど貼った。窓ガラスの部分については夏、冬とも極力2重カーテンを閉めている。

夏場は屋根の焼け込みが屋根裏部屋の温度を上昇させ、居室にも影響がでる。スレート葺きの屋根全面にガルバリュームのメタルルーフを重ね張りしたら、かなり効果があった。その結果スレート葺き屋根の定期的再塗装工事が不要となった。ソーラーパネルの設置も屋根裏の温度上昇抑制には効果的であった。また、夏場に日差しの強い窓の雨戸は昼間から閉めるようにしている。

夏場には、夕方日差しが弱まってから、必要により室内換気をする。複数の窓を網戸にして、複数の扇風機を回した。しかし通常の扇風機では効果が少ないので、高出力の工場用扇風機を5,000円ほどで購入した。短時間の室内換気には極めて効果的である。家周りには夏場、時々散水する。

洗車には水道水を使わない。雨天時、傘をさしてブラシで車をこするだけ。長期間雨が降らないときは風呂の残り湯を使用する。自動洗車機は車の塗装を傷めるので使わない。私の車は12年経つが、表面には十分に光沢がある。

(次ページへ続く)

（前ページから続く）

レンジや野菜の冷凍加工品の活用は省エネに有効と思われる。ブロッコリーやアボカドなどの冷凍品は廃棄部分が皆無で生ごみ削減にも役立つ。

家の構造や立地、生活スタイルなどにより違いはあると思うが、その条件にあわせて省エネの工夫はいくらでもできると思う。それを考え、実施すること自体が、すなわち脳の老化防止になると思う。皆さん、自分流省エネに挑戦しましょう。

クラブ短信

1. 藤が谷公園愛護会は当クラブの30周年記念行事として3月12日に藤が谷公園に河津桜の植樹を行った。（フォト①）
2. 鵠沼松が岡公園愛護会も当クラブの30周年記念行事として3月26日に鵠沼松が岡公園にソメイヨシノの植樹をし、添え木と囲い柵を設置した。（フォト②）
3. 鵠洋児童館にて子どもと遊ぶ会は5月28日にイベントがおこなわれた。27名の子供たちが9名の探求クラブ員と5名の児童館職員とともに児童館にて凧作り・絵付けを行い、お互いの作品を紹介し合った。その後親御さんたちを含む70名ほどが徒歩でサーフビレッジまで移動し、強風の中凧あげを楽しんだ。（フォト③④）

① 藤が谷公園の植樹

② 鵠沼松が岡公園の植樹

③ 鵠洋児童館での作品紹介

④ サーフビレッジでの凧あげ

4. 5月15日、くげぬま探求クラブの第51回ゴルフコンペが鎌倉パブリックゴルフコースで行われた。天気予報では降雨となっていて心配したが、当日は一日中曇りで気持ちの良いゴルフ日和となった。参加者は10名（内ゲスト1名）。優勝は長谷川さん。（フォト⑤）
5. 5月20日（土）に鵠南児童館で「ひょっこりこうなんじま開館記念行事」が行われた。当クラブは「割りばし鉄砲での的あて」のイベント実施で参加。子ども149人が参加という盛況ぶりで、ブルーシートを張り、机を2段にして設置した的をめがけて射撃を楽しんだ。鵠南小の校長や多くの保護者も顔を見せ、大いに盛り上がった。（フォト⑥）
6. 6月1日に久しぶりに「おひる探Q会」が開かれた。ゲスト3名を含め9名が参加し、牡丹餅、きゅうりの塩昆布漬け、めかぶ汁などを作った。食事しながらの会話も新人、復帰者の参加で大いに盛り上がった。
7. 6月14日、当クラブの第24回ボウリング大会が江の島ボウリングセンターで行われた。参加者12名（内ゲスト3名）優勝は鈴木（英）さん。
8. 6月16日、藤が谷公園愛護会は花壇の春の花植えを行い、約300個のポット苗を3か所の花壇に植えた。参加者は9名（内ゲスト2名）

⑤ ゴルフコンペ

⑥ 割りばし鉄砲での的あて

「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。
「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の坂口」までご連絡下さい。
ホームページアドレス http://kugenumatankyuclub.web.fc2.com/ 、
左の QR コードまたは「くげぬま探求」、「鵠沼探求」で検索してください。

～例会・部会活動報告～

3月　March

○臨時総会4日(土)出席31名、委任状8(有効30以上)。議題:次期世話人、監査役選任の選任。
○348回例会(日時等、同上)・審議事項:4月以降の会費徴収→従前通り。
○世話人会・1日(水)花見会、3月臨時総会例会準備。・16日(水)、29日(火)新世話人との引継ぎ。
○くぐひ制作部8日(水)編集委員11名。第113号(令和5年春号)の第2回編集会議。
○鵠沼松が岡公園愛護会・5日(日)17名。・26日(日)11名。定例日をずらし、30周年記念のソメイヨシノ植樹。
○藤が谷公園愛護会 12日(日)9名(1)。30周年記念の河津桜植樹。
○ヤングハーツ ・1日(水)4月の曲・8日(水)鵠洋児童館「春のお祝いミニコン」・20日(月)亀吉・31日(金)脳活。
○おもちゃの病院・12日(日)13名(2) 来院17名・26日 12名(1) 来院25名。修理対象は「子供のおもちゃ」を確認。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 19日(日)「春のトーナメント大会」15名(2)、子供23名、保護者40名、公民館1名。
○災害研究部会 3日(金)11名(4)。富士山大量遭難事故、引地川の変遷、富士山噴火、南海トラフ地震予知。
○極楽部会 15日(水)12名。新村さんの「私と健康配慮」。
○健康を探求する会 23日(木)6名(1)。「本当に怖い高齢者の貧血」「花粉症の正しい対策　名医が監修」V.視聴。
○サロン会 18日(土)15名(2)。鵠南市民の家。
○健康部会　前日が雨のため中止。
○探訪部会21日(火)4名(1)。鎌倉史跡散策(常楽寺、六国見山、散在ガ池コース)。
○カラオケ部会20日(月)5名。
○農園部会・5日(日)6名。新区画の1に苗床の準備。・12日(日)6名、新区画へ植え付けと種まき。
○談話室 15日(水)12名。和田秀樹著「70代からいいことばかり起きる人」の中から順次研究。
○近代史を語る会・企業研究部会合同。9日(木)9名。鉄道開業150年にちなみ新橋の鉄道歴史展示室見学。
○デジタル情報部会27日(月)13名。「Googleマップの使い方」(奥村)「チャットGPT」(小山)の研究。
○ヤングブラザーズ11日(土)15名(6先生2)「時代」、25日(土)16名(5先生2)「芭蕉布」「SMILE」。
○なつかしの名盤愛好会 13日(月)6名。ボサノヴァ、ルンバなどラテン中心に愛聴。
○似歌会 14日(火)8名。兼題「桜」トップ4点句1句。・会うよりも多き別れや老い桜　虎山
休会:○メディア委員会○HP制作部○アーカイブ委員会○30周年委員会○子どもと遊ぶ会○おひる探Q会。

4月　April

○第30回定時総会1日(土)35名、委任状6(有効30以上)議題:4年度活動報告、会計報告、5年度運営方針、新世話人。
○第349回例会(日時等同上)新会員候補・片又靖久(84)さん承認。
○クラブ花見会 3日(月)36名(3)。4年振りの開催。晴天、満開の桜の下で11時から、初の長久保公園で。
○世話人会(3/29・水)新旧引継ぎ後に新世話人の役割分担、運営方針等。・臨時26日(水)新年度予算案検討。
○アーカイブ委員会15日(土)9名①紙資料スキャン。幕末史、くぐひ特別号(終戦年特集)②アーカイブ公開③個人資料の取り込み。
○くぐひ制作部12日(水)編集委員10名。第114号(令和5年夏号)第1回編集会議。新編集委員に坂口代表。
○30周年記念行事委員会26日(水)10名。進捗状況報告、予算案。追加行事:髙山みな子氏(勝海舟玄孫)の講演会実施へ。
○鵠沼松が岡公園愛護会・2日(日)15名。半年分の落とし物を2個分廃棄処分。・16日(日)11名。
○藤が谷公園愛護会 9日(日)8名(1)。記念植樹の河津桜の根周りの手入れ、清掃、砂場の整備。
○ヤングハーツ＊5日(水)10名 定例練習。＊17日(月)亀吉本店。＊28日(金)ラフターヨガ。
○おもちゃの病院・9日(日)14名(2)。来院21・23日(日)12名(2)。来院35。受付・修理の別室は当面継続。修理具体例の共有化を今後検討。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 16日(日)7名(2)。参加者:子供14名(新人2)父母4名、公民館2名)囲碁は2名参加。
○災害研究部会7日(金)11名(3)①熊本地震②「地域の防災力・地震10秒診断」③横浜市民防災C.訓練体験・藤沢市「クロスロードゲーム」。
○極楽部会19日(水)14名。 私の健康法S.:Oさんの「免疫力向上」(モーツァルトを聴くと免疫力向上)。黒酢の効用、ビタミンDなど。
○健康を探求する会27日(木)6名(2)。「長引く肩こり対策」(ゲンキの時間(V.)を視聴。健康情報「笑がもたらす健康効果」V.視聴。
○サロン会 15日(土)15名(1)。鵠南市民の家。雨。
○健康部会28日(金)10名。快晴、等覚院(川崎市宮前区)のつつじ。登戸駅出発7.2km、12,000歩。
○探訪部会 18日(火)5名(1)「鎌倉史跡散策(龍宝寺・玉縄城址・久成寺コース)」戦国時代の山城。
○カラオケ部会17日(月)7名。
○農園部会)・定例2日(日)5名・臨時18日(火)4名。定例は区画2でジャガイモ植付け、臨時は区画1で小松菜他収穫。
○談話室 19日(水)11名。・「退会者へのフォロー」継続。「和田秀樹」著の続き④幸福度が最高値は「82歳以上」⑤「老後破産、下級老人」。
○ヤングブラザーズ・8日(土)14名(6先生1)。指揮者欠席でゲストの黒澤氏が代行。・22日(土)は休会。
○デジタル情報部会 24日(月)16名。「パソコンで困ったときの対処法」(奥村)。トラブル相談例から研究。
○近代史を語る会13日(木)9名(4)「昭和時代」第30回、「ミッドウェー海戦」佐伯雄二レポート。昭和17年南太平洋の日米海戦。
○なつかしの名盤愛好会 10日(月)6名。カウント・ベイシー楽団の演奏を中心に鑑賞。
○似歌会11日(火)4名。27句の投句。兼題「春の夕・春夕」。トップ4点句1句。・綿毛吹く子らのほっぺや春夕べ　木偶坊
○おひる探Q会 6日(木)6名(3)3年ぶりの開催。Sさん得意のママレードと夏みかん釜ゼリー。
休会:○メディア委員会○HP制作部○子どもと遊ぶ会○企業研究部会。

5月　May

○30周年記念・健康部会/企業研共同、伊豆・天城一泊旅行、23日(火)～24日(水)参加15名(1)。
○臨時総会6日(土)出席37名、委任状3(有効29以上)。議題:5年度予算→承認
○第350回例会(同上)出席37名。通常案件。
○世話人会・3日(水)。5年度予算案検討、例会資料の作成。・31日(水)例会対応。
○くぐひ制作部10日(水)編集委員11名。第114号の原稿推敲。残りの推敲は次回編集会議で。
○鵠沼松が岡公園愛護会・定例8日(月)6名。前日雨で順延実施。・臨時21日(日)10名。通常作業。
○藤が谷公園愛護会・13日(土)12名。藤が谷市民の家で総会開催。坂口代表、萩原松が岡公園愛護会部会長出席。会計報告承認。・27日(土)7名。春の花植え用花壇の清掃他。
○ヤングハーツ・10日(水)13:00～、月初練習。・15日(月)13:00～、亀吉本店訪問・26日(金)14:00～、脳活倶楽部(公民館)。(野村)
○おもちゃの病院・14日(日)14名(2)、来院25名(新患19、引取4)・28日(日)11名(2)。来院43名(新患17、引取18)。新患おもちゃを迅速に移動させる方策など検討。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 21日(日)7名(2)子供16名(新人3名)父母4名。募集枠いっぱいの子供たちが熱戦。
○災害研究部会5日(金)6名(2)。①チリ地震津波②避難スイッチ③クロスロードゲーム　④鵠沼市民C.建替え⑤砂防林内薬剤散布連絡。
○極楽部会17日(水)14名。私の健康法:Nさん「感情と体の密接な関係」。喜び、幸せ、楽しさは体にプラスに、怒り、悲しみはマイナスに。
○健康を探求する会25日(木)6名(2)「突然死の原因になる中性脂肪、対策」ゲンキの時間(v.)視聴。健康情報:「目的別正しいウオーキング」
○サロン会20日(土)11名。30周年『佐藤九段の講演』は「探求全員が参加して」、「強要は無理だ」等の意見交換。
○探訪部会16日(火)6名(1)。「鎌倉史跡散策(北野神社・泉光院・御霊神社・青蓮寺コース)」鎌倉時代の戦績、江戸時代の富士山信仰の史跡。
○農園部会 ・7日(日)5名。ナス、枝豆他の苗植え。S.セニョール水やり。・臨時10日(水)4名。トウモロコシの種蒔きと大根の収穫。27日(土)臨時27日(土)4名。直前に植えた苗へ支柱建て、雑草取り。
○子どもと遊ぶ会・20日(土)＜ひょっこりこうなんじま＞3名(ひょっこり4、子ども149、保護者・他48)開館記念行事で「輪ゴム鉄砲の的当てゲーム」・28日(日)＜鵠洋児童館＞10名。凧作り凧揚げ会。(子ども27、保護者28、職員3)。ぐにゃ凧を作り、海岸で凧揚げを楽しんだ。
○談話室 17日(水)12名。和田秀樹著「70代からいいことばかりおきる人」⑨高齢者こそもっと牛肉を食べろ⑩コレステロールは下げなくて良い他。
○近代史を語る会11日(木)16名(4)資料のみ5。「昭和時代」第31回「大本営発表」佐藤恒雄レポ(極秘資料10枚)。130余回の最終章。
○デジタル情報部会 22日(月)10名①「マイナカードのスマホ搭載」研究。②「探求クラブアーカイブ」 創立時からの資料を保存作業を紹介。
○ヤングブラザーズ・13日(土)14名(4先生2)発声練習①冬景色②早春賦③時代④SMILE。27日(土)15名(4先生2)練習曲はほぼ一緒。
○なつかしの名盤愛好会 8日(月)5名。毎回、谷村さんコレクションのレコードを鑑賞、感謝。
○似歌会日9日(火)7名。投句27。兼題「新茶」。トップ3点句が2句。・目を病んで香り一入新茶かな　虎山・独り臥す枕べ和みの新茶あり　木偶坊
○カラオケ部会15日(月)6名(1)。開催時間前に全員集合、先月よりメンバー1名減も先月と同じく42曲完唱。
休会:○メディア委員会○アーカイブ委員会○30周年委員会○HP制作部○おひる探Q会

自由席

蘇ったMorris

小山 和彦

Morris（モーリス）といえば？自動車のミニ・クーパーのメーカーと答える人は多いと思うが、これは日本のギターの話。

50数年前、初めてのボーナス（新入社員給料の1カ月分）をはたいてMorrisブランドのフォークギターを買った。Morrisは日本のメーカーで1967年にギター販売を開始しており、まさに店頭に並び始めたころに購入したことになる。給料1カ月分とは大層な買い物だった。

7、8年は弾いただろうか。フォークブームも下火になり、押し入れの片隅で眠ることに。10年ほど経って息子がギターに興味を持ち始めた。出してみると状態もよいので貸すことにした。やがてフレットはすり減って音が出にくくなり、ネックの反りもひどくなってまたしてもMorrisは押し入れで眠りについた。処分することも何度か考えたが、思い出もあり処分するにはもったいない気がしてそのままにしていた。

それから30数年、今度は孫娘がギターに興味を持ち始めたようで、「あのギターが使えるなら娘に使わせたい。」と言ってきた。早速楽器屋へ持ち込んでみたが「直せないことはないが修理代が新しいギター1本分くらいかかる。」と言われて諦めた。息子が「ならば自分で修理屋を探してみる。」と持ち帰ることに。

しばらくして息子と孫娘が真新しいギターケースに入った新品さながらのMorrisを持って遊びにやってきた。聞けば、近くのギター修理ショップを見つけて持ち込んだところ、店長が「珍しいギターを持ってきてくれた。今時こんな初期のギターはほとんど見ることがない。内部も研究したいのでぜひ修理を。」と快諾してくれたとのこと。直ったギターはすっかり元の状態に戻っていて、音のよさも変わっていない。50年も経っているのに、いまだに塗りもしっかりしていて、音も昔のままでいい音を出してくれる。早速ギターとウクレレのセッションでひと時を楽しんだのは言うまでもない。

舶来ギターを模して作られた国産のギターとは言え、あの頃何とか国産でしっかりした仕上げでしかも音のよいギターを作ろうとした製作者たちの確かな仕事ぶりにあらためて感動を覚えた。

このギターは孫娘のものとして３代にわたって引き継がれていく。まことにいいギターに恵まれた。

編集後記　前号の新世話人代表の挨拶に続いて本号では他の5名の新世話人の抱負を紹介。本格的に始まった当クラブの30周年記念行事の一つとして健康部会と企業研究部会の共催で行われた「伊豆への一泊旅行」につき谷村さんと田中章さんから報告いただいた。コロナ禍で中断していた花見会が4月3日に盛況裏に開催され、井上さんより楽しげな集合写真とともに報告された。部会紹介の項では長年同会を牽引し先ごろ部会長を退任した佐藤さんより長い部会の歴史の一部をご披露いただいた。塩川が自ら省エネに取り組んでいる様々な事例を具体的に紹介、参考になれば幸いである。本号のクラブ短信は盛りだくさんで本来独立の記事で扱いたいようなものまで組み入れてしまった。「拡大版クラブ短信」と言いたい。自由席には小山さんが登場。彼自身が昔購入したギターが子、孫と3代にわたって引き継がれていくという、夢のある物語。よい楽器は長持ちするという典型例。コロナが収れんし、活動が活発化したために例会・部会活動報告の文字数が増し、文章圧縮を図るも、活字の小型化を余儀なくされた。　（塩爺）

会報 くぐひ 第 114 号
2023 年 7 月 1 日
発行 くげぬま探求クラブ
発行人 坂口 純則
編集長 塩川 昌男